幸福"金星" 延長制す

延長10回、サヨナラスクイズを決めた大島（右から2人目）を囲み、喜びを爆発させる幸福ナイン＝県営、柴田大輔撮影

青藍泰斗 初戦で散る

▽2回戦（県営）

青藍泰斗	000	131	000	0		5
幸福	010	400	000	1x		6

（延長十回）

▽三塁打　右田、阿座上（幸）▽二塁打　石川蒼、町田（青）佐野那（幸）

【評】幸福の科学学園が青藍泰斗から金星。幸福は延長十回1死満塁から大島がスクイズを決めて終止符を打った。青藍泰斗は五回に伊藤翔の適時打などで3点、六回には矢野の適時打で1点を返し試合を振り出しに戻したが及ばなかった。

【青藍泰斗】		打	安	点
⑧	石川蒼	6	4	0
⑧④	石川翔	3	0	0
4	永井	2	0	0
③	町田	4	1	0
⑦	宗	5	1	0
②	矢野	2	1	1
⑨	渡辺	4	2	1
⑤	伊藤翔	3	1	1
①	山崎	2	0	0
1	伊藤祐	2	0	1
⑥	石下	5	1	1

振	球	犠	併	残	打	安	点
7	8	2	2	13	38	11	5

【幸福】		打	安	点
⑥	右田	3	2	1
⑧	阿部	5	0	0
②	津崎	4	1	2
①	阿座上	4	1	0
⑤	箕輪	3	0	0
③	清家	3	0	0
④	大島	3	1	1
⑨	佐野那	4	1	1
⑦	行木	4	1	0

振	球	犠	併	残	打	安	点
8	10	0	1	9	33	7	5

投手	回	打	安	失
山崎	3 1/3	19	2	5
伊藤祐	6 2/3	24	5	1
阿座上	10	48	11	5

▽盗塁　青2、幸1▽失策　青1、幸0▽暴投　青1（伊藤祐）▽審判（球）古澤（塁）磯、寺田、松島明▽試合時間　2時間33分

助っ人含め14人 扉開くミラクル　幸福

ハイライト

歓喜と悲鳴が交錯する中、ホームベース付近で輪ができた。春8強の青藍泰斗から奪った金星は、幸福の科学学園にとって初めての夏の2勝目。正規部員8人、助っ人6人の14人が起こした番狂わせを「ミラクル」と評した棚橋誠一郎監督は「本当によくやった」と興奮気味に話した。

一丸となって強豪に立ち向かった。制球の定まらない相手主戦を攻め二回に先制。四回は津崎真之介の2点適時打など打者8人で4点を奪った。

一方、先発の右腕阿座上隼平も最後まで耐え抜いた。六回に追い付かれたが、その後は締め十回まで無失点。その直後に打席へ立つと「この回で決める」と中越え三塁打でサヨナラ機を演出した。

その後、敬遠策で1死満塁となり打席には1年生の大島聡起。「バントには自信があった。絶対決める」と3球目にスクイズを成功。両手を広げて一塁を駆け抜け、遅れて加わった輪の中でもみくちゃにされた。

右翼に入った野球初心者の1年生佐野那祐汰、左翼のサッカー部主将行木悠聖も安打を放ち勝利に貢献。投打の大黒柱・阿座上を無失策でもり立てたことも、夏を戦う力が十分にあることを証明していた。

新たな歴史をつくったナインだが「勝って慢心せずに次も100％勝つつもり」（阿座上）と緩みは無い。創部12年目で切り開いた3回戦への扉。幸福の科学学園のサクセスストーリーはまだ終わらない。（小玉義敬）

下野新聞7月16日付より